

## 6章 清掃

### 6.1 エアフィルタおよび凝縮器の清掃



- ・ 本機の清掃は必ず電源を遮断してから行うこと。電源が入っていると急に運転を開始することがあり危険である。
- ・ 運転中および運転直後は、循環ポンプ、コンプレッサ、冷媒配管などが高温になっているので、これらの箇所に触れないこと。火傷を負うおそれがある。



- ・ フィンの鋭利なエッジによりけがをするおそれがあるので、凝縮器を清掃するときには保護具を着用すること。

期間を決め定期的にエアフィルタおよび凝縮器の清掃を行ってください。期間は1ヶ月に1度が目安です。  
清掃は下記の手順により行います。

- 1) 電源を遮断します。



電源遮断手順については「4.3 電源の遮断」を参照してください。

- 2) エアフィルタを取り外します。

- 3) ハケ、ブラシ、エアガン、掃除機などでエアフィルタを清掃します。

- 4) 手順3)と同様にして凝縮器を清掃します。



凝縮器のフィンをつぶしたり内部パイプを傷つけたりしないように細心の注意を払うこと。

- 5) エアフィルタを元のように取り付けます。



エアフィルタを外した状態で運転しないこと。

## 6.2 外装の清掃



- ・ 直接水をかけての清掃はしないこと。漏電のおそれがある。

外装の表面が汚れた場合、乾いた布または濡らして固く絞った布で磨きます。



ブラシや磨き粉、酸、ベンジンなどの溶剤は塗装がはげることがあるので使用しないこと。

## 6.3 サクションストレーナの清掃（循環式）

期間を決め定期的にサクションストレーナの清掃を行ってください。清掃は下記の手順により行います。

- 1) 電源を遮断します。



電源遮断手順については「4.3 電源の遮断」を参照してください。

- 2) ストレーナを取り外します。



オイルタンク付きの機種の場合、ストレーナはオイルタンク内部にあります。

- 3) 中性洗剤などを使用してストレーナを湯洗いします。

- 4) ストレーナを乾燥させます。



ストレーナの洗浄後はゴミが付着しないように注意すること。

- 5) ストレーナを取り付けます。



空気や異物の吸込のないように注意して配管すること。


## 9章 トラブルシューティング








### 9.1 アラームコードの内容と処置




- ・電気関係の保守は、電気主任技術者、電気工事士などの有資格者で経営者により指定された者が、法規および貴社社内基準に従って行うこと。
- ・制御ボックスの蓋を取り外す前に、必ず本体装置および本機の電源を切ること。

本機には故障自動監視の機能があります。故障が発生した場合、表示部にアラームコードが表示されます。アラームコードの内容と処置は下記の表に示すとおりです。  
これらの処置を行っても回復しない場合は、当社まで御連絡ください。

アラームコード	内 容	処 置
---	遠隔操作接点の接続不良	<ul style="list-style-type: none"><li>・遠隔操作接点の接続を確認する。</li><li>・遠隔操作接点を接続しない場合、接続用の端子を短絡させる。</li></ul>  「7.3 電気配線」を参照してください。
E0	液温センサの断線 または接続不良	<ul style="list-style-type: none"><li>・当社まで御連絡ください。</li></ul>
E1	基準温度センサの断線 または接続不良	<ul style="list-style-type: none"><li>・当社まで御連絡ください。</li></ul>
E2	液温が異常高温になった。 (警報設定値でアラーム)	<ul style="list-style-type: none"><li>・周囲温度を下げる。</li><li>・液温を正常の温度に戻す。</li></ul>
E3	液温が異常低温になった。 (警報設定値でアラーム)	<ul style="list-style-type: none"><li>・液温を正常の温度に戻す。</li></ul>

アラーム コード	内 容	処 置
E4	ヒーターの温度が異常に高くなった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒーターに油が流れているかを確認する。</li> </ul>
E5	ポンプ用サーマルリレーがトリップした	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポンプ用サーマルリレーのリセットボタンを押す。   「7.3 電気配線」を参照してください。</li> <li>配管の出口抵抗を小さくする。   「7.2 油配管（循環式）」を参照してください。</li> </ul>
E6	冷媒管の圧力が異常に高くなった	<ul style="list-style-type: none"> <li>エアフィルタおよび凝縮器を清掃する。   「6.1 エアフィルタおよび凝縮器の清掃」を参照してください。</li> <li>通気口または排気口付近の障害物を取り除く。</li> <li>周囲温度を下げる。</li> </ul>
E7	ポンプ用サーマルリレーがトリップした	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポンプ用サーマルリレーのリセットボタンを押す。   「7.3 電気配線」を参照してください。</li> <li>配管の出口抵抗を小さくする。   「7.2 油配管（循環式）」を参照してください。</li> </ul>
E8	コンプレッサ用サーマルリレーがトリップした	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンプレッサ用サーマルリレーのリセットボタンを押す。   「7.3 電気配線」を参照してください。</li> <li>散熱を良くする。   「7.1 設置」を参照してください。</li> </ul>

アラーム コード	内 容	処 置
E9	タンク液量の低下 アラーム発生時から10分間は アラーム表示のみ(温度表示/E 9の点滅)でその後アラーム停 止します。	・タンクに冷却液を補充して下さい。
EA	電源の配線が逆相になって いる。	・ 電源線の2相を入れ替える。  「7.4 電源の逆相配線の補正」を参照して ください。
EE	ファンモータ用サーマルリレ ーがトリップした。	・ 当社まで御連絡ください。
EF	コンプレッサの温度が異常に 高くなった。	・ 本体装置が運転しているかを確認する。 ・ 周囲温度を改善する。 ・ 散熱を良くする。